

緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設（建築主体）工事

（株）雨宮建築設計事務所

図書目録

図面番号	図面名
A -1	図書目録
A -2	工事区分表
A -3	特記仕様書 (1)
A -4	特記仕様書 (2)
A -5	特記仕様書 (3)
A -6	特記仕様書 (4)
A -7	特記仕様書 (5)
A -8	特記仕様書 (6)
A -9	特記仕様書 (7)
A -10	耐火リスト
A -11	外部仕上表
A -12	内部仕上表
A -13	敷地 求積図・求積表
A -14	建物 求積図・求積表
A -15	案内図、全体配置図
A -16	野球場配置図
A -17	1階平面図
A -18	スタンド階平面図
A -19	立面図
A -20	断面図
A -21	矩計図 (1)
A -22	矩計図 (2)
A -23	断面詳細図
A -24	階段詳細図 (1)
A -25	階段詳細図 (2)
A -26	1階平面詳細図 (1)
A -27	1階平面詳細図 (2)
A -28	展開図 (1)
A -29	展開図 (2)
A -30	展開図 (3)
A -31	展開図 (4)
A -32	展開図 (5)
A -33	天井伏図
A -34	1階 建具・手摺キープラン
A -35	スタンド階 建具・手摺キープラン
A -36	建具表 (1)
A -37	建具表 (2)
A -38	建具表 (3)
A -39	手摺詳細図
A -40	門扉・フェンス詳細図
A -41	雑詳細図 (1)
A -42	雑詳細図 (2)
A -43	雑詳細図 (3)
A -44	バックネット一般図
A -45	バックネット詳細図
A -46	スタンド ベンチ配置図
A -47	スタンド ベンチ詳細図
A -48	ダッグアウト ベンチ配置図・詳細図

図面番号	図面名
	<法規チェック>
A -49	室別求積図
A -50	1階平面図
A -51	スタンド階平面図
A -52	各種計算表
	<整備機械置場>
A -53	仕上表、平面図、求積図、立面図、断面図
A -54	矩計図、平面詳細図、建具表
	<防球ネット>
A -55	特記仕様書
A -56	配置図
A -57	展開図
A -58	断面図
A -59	ネット取付・避雷設備詳細図
A -60	接合部・基礎詳細図
A -61	支柱詳細図 (1)
A -62	支柱詳細図 (2)
A -63	指定仮設図 (参考)
S-1	構造設計特記仕様書 (1)
S-2	構造設計特記仕様書 (2)
S-3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)
S-4	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)
S-5	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)
S-6	地盤調査図
S-7	改良コラム配置図
S-8	基礎伏図
S-9	1階床伏図
S-10	R階床伏図
S-11	屋根伏図
S-12	軸組図 (1)
S-13	軸組図 (2)
S-14	軸組図 (3)
S-15	部材リスト (1)
S-16	部材リスト (2)
S-17	部材リスト (3)
S-18	柱状改良地業特記仕様書
S-19	プレキャストコンクリート工事特記仕様書
S-20	PC段床平面割付図
S-21	PC段床断面割付図
S-22	PC段梁納まり詳細図
S-23	パネルゾーン納まり詳細図
S-24	PC段床部材リスト
S-25	PC段床各部詳細図 (1)
S-26	PC段床各部詳細図 (2)
	<整備機械置場>
S-27	鉄骨構造標準図 (1)
S-28	鉄骨構造標準図 (2)
S-29	整備機械置場 床伏図・軸組図
S-30	整備機械置場 部材リスト

図面番号	図面名
G-1	割付線形図
G-2	割付線形図 (拡大図)
G-3	線形表
G-4	造成平面図
G-5	計画高平面図
G-6	計画高平面図 (拡大図)
G-7	計画断面図 (1)
G-8	計画断面図 (2)
G-9	計画断面図 (3)
G-10	植栽平面図
G-11	排水設備平面図
G-12	排水設備詳細図 (1)
G-13	排水設備詳細図 (2)
G-14	舗装配置平面図
G-15	主要園路標準断面図
G-16	舗装詳細図
G-17	縁石配置平面図
G-18	縁石詳細図
G-19	階段・擁壁平面図
G-20	階段詳細図 (1)
G-21	階段詳細図 (2)
G-22	階段詳細図 (3)
G-23	階段詳細図 (4)
G-24	擁壁詳細図 (1)
G-25	擁壁詳細図 (2)
G-26	擁壁詳細図 (3)
G-27	擁壁詳細図 (4)
G-28	擁壁詳細図 (5)
G-29	擁壁詳細図 (6)
G-30	擁壁詳細図 (7)
G-31	施設配置平面図
G-32	施設配置平面図 (拡大図)
G-33	施設詳細図 (1)
G-34	施設詳細図 (2)
G-35	施設詳細図 (3)
G-36	施設詳細図 (4)
G-37	施設詳細図 (5)
G-38	施設詳細図 (6)
G-39	施設詳細図 (7)
G-40	施設詳細図 (8)
G-41	撤去・舗装整備詳細図

図面番号	図面名
	<既存野球場解体工事>
K-1	解体特記仕様書 (1)
K-2	解体特記仕様書 (2)
K-3	解体案内図・配置図
K-4	解体全体平面図 (現況・解体後)
K-5	野球場工作物撤去配置図
K-6	野球場立竹木撤去配置図
K-7	野球場工作物詳細図
K-8	野球場工作物面積表
K-9	野球場工作物 (参考) (1)
K-10	野球場工作物 (参考) (2)
K-11	仮設計画図 (参考)

摘要	月日	

株式会社 雨宮建築設計事務所

〒470-0177 甲府市上石田4丁目7-7
TEL 055 (226) 6770番(代)
FAX 055 (226) 6750番

一級建築士 中田 雅弘 第343612号
一級建築士事務所 第1-29571号
e-mail : info@amemiya-sekkei.com

管理建築士	検図者	設計者	担当者	名称
				緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設(建築主体)工事
作製				図書目録

縮尺 (A1)
(A3)

図面番号
No. A 1

緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設(建築主体) 工事設計図

特記仕様書

I 工事概要

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes 1. 工事場所 (山梨県甲府市緑が丘二丁目目内), 2. 敷地面積 (21,189.90 m²), 3. 工事種目 (野球場本部棟新築工事 鉄筋コンクリート造 2階建 一式), 4. 指定部分 (有・無 対象部分() 指定部分() 年月日), 5. 工事範囲 (※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。)

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes ② 仮設工事 (すべて), ③ 土工事, ④ 地業工事, ⑤ 鉄筋工事, ⑥ コンクリート工事, ⑦ 鉄骨工事, ⑧ エコアプロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事, ⑨ 防水工事, 10. 石工事, 11. タイル工事, 12. 木工事, 13. 屋根及びとい工事, 14. 金属工事, 15. 左官工事, 16. 建具工事, 17. カーテンウォール工事, 18. 塗装工事, 19. 内装工事, 20. ユニット及びその他の工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes ② 仮設工事 (すべて), ③ 土工事, ④ 地業工事, ⑤ 鉄筋工事, ⑥ コンクリート工事, ⑦ 鉄骨工事, ⑧ エコアプロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事, ⑨ 防水工事, 10. 石工事, 11. タイル工事, 12. 木工事, 13. 屋根及びとい工事, 14. 金属工事, 15. 左官工事, 16. 建具工事, 17. カーテンウォール工事, 18. 塗装工事, 19. 内装工事, 20. ユニット及びその他の工事

II. 建築工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁審判部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事、それぞれの工事特記仕様書を用いる。
(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(4) 図は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(平成21年2月8日変更閣議決定)に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものとする。
(5) 「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う公共工事からの暴力団排除」を目的として受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工程の如何にかかわらず、末端の下請負業者まで反映させた、「下請負体系図」を作成し、選請・競争が無いよう記載内容を十分確認の上、選請なく監督員へ提出するものとする。
また、「特定調達品目」の調達の実績(数量及び公共工事)について、当該年度の調達実績集計表(物品・役務及び公共工事)を建設省ホームページからダウンロードし、Excelファイルで作成し、提出する。
(6) 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設の木材利用量について、木材利用調査報告より、Excelファイルで作成し、提出する。

- (6) 工事写真の取扱い
・電子媒体により納品すること。
・納品時は、正期1部ずつを納品すること。
・使用する媒体は、CD-Rとする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、DVD-Rの使用も可とする。
・電子媒体に對して必ずウイルスチェックを行うこと。(ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように最新のデータに更新したものを利用すること。)
・電子媒体には以下の情報を明記すること。
A. 工事名称 B. 工事場所 C. 契約番号 D. 発注者担当部署名
E. 請負者名称 F. 作成年月 G. 何枚目/総枚数 H. ウィルスチェックに関する情報
I. CD-Rフォーマット形式
J. 電子媒体の内容の原本性を証明するために、直接署名又は捺印を行う。
・電子納品される写真データは、PDF形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様の確認ができるものとする。
・写真データは、工程種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名・フォルダ名を付して整理すること。
・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査することも可能とし、その範囲は受発注者との協議による。
・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。
・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。
・ここに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。
(7) 再生資源利用計画(実施)書及び再生資源利用促進計画(実施)書の提出
(請負金額100万円以上の工事)
請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式(計画書・実施書)(EXCEL形式)」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部(紙)を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。(以前より使用していたレダスを使用した形式での提出は30センチサイズに対応していないため不可)
工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部(紙)を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体(CD、DVD等)により監督員に提出するものとする。
なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。
※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。
URL: http://www.mlit.go.jp/gosei/iseku/reg/03/regyo/e/03project/0306/page_03060101credas1top.htm
(8) 工事カルテに関する特記仕様(請負金額500万円以上の工事)
受注者は、工事実績情報サービス(CORINS)入力システム(財)日本建設情報総合センター)に基づき、受注・変更・完成・訂正時工事実績情報として「登録のための確認画面」を作成し監督員の確認(確認印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入)を受けたうえ、(財)日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。
①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内(土・日曜日及び祝日の祝を除く)とする。
②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。
③業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内(土・日曜日及び祝日の祝を除く)に変更データを変更申請しなければならない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更申請を行うものとする。
④訂正時は、適宜登録欄に登録申請をしなければならない。

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes ① 風圧力 (風速(V=30 m/s) 地表風圧区分 (I・II・III・IV) 積雪荷重 (平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表(27)(50cm)), ② 環境への配慮 (1.4.1), ③ 材料の品質等 (1.4.2), ④ 室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9)

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes ① 完成写真 (撮影部位及び箇所、形式・サイズ、提出セット数、撮影者), ② 足場その他 (2.2.4), ③ 仮設工事 (2.2.3), ④ 土工事 (2.2.5), ⑤ 建設発生土の処理 (3.3.3), ⑥ 地業工事 (特記仕様書(構造関係)による), ⑦ 鉄筋工事 (特記仕様書(構造関係)による), ⑧ コンクリートブロック (8.2.2, 3.5), ⑨ コンクリートブロック (8.3.2, 3.4), ⑩ ALCパネル (8.4.2~5)

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes 9 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.2 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.3 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.4 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.5 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.6 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.7 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.8 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.9 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.10 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.11 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.12 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.13 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.14 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.15 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.16 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.17 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.18 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.19 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.20 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.21 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.22 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.23 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.24 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.25 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.26 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.27 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.28 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.29 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.30 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.31 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.32 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.33 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.34 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.35 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.36 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.37 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.38 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.39 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.40 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.41 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.42 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.43 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.44 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.45 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.46 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.47 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.48 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.49 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.50 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.51 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.52 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.53 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.54 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.55 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.56 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.57 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.58 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.59 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.60 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.61 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.62 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.63 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.64 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.65 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.66 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.67 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.68 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.69 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.70 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.71 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.72 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.73 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.74 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.75 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.76 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.77 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.78 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.79 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.80 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.81 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.82 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.83 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.84 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.85 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.86 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.87 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.88 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.89 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.90 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.91 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.92 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.93 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.94 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.95 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.96 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.97 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.98 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.99 防水工事 (9.2.2~5), 9.2.100 防水工事 (9.2.2~5)

改質アスファルトシート防水 (9.3.2, 3) (表 9.3.1~3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料	高日射反射率防水の適用
AS-T1					
AS-T2					
AS-T3					
AS-T4					
AS-J1					
AS1-T1		標準仕様書9.3.2(3)(f) (種別)			
AS1-J1		(厚さ) ・25mm ・50mm	・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による) ・設けない		

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※種別 mm以上
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※種別 mm以上
厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※種別 mm以上
厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋根突出防水絶縁工法及び屋根突出防水絶縁加熱工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定

合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4) (表 9.4.1~3)

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用
S-F1			ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様
S-F2		※発泡ポリエチレンシート		
S-M1			ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様
S-M2				
S-M3				
S1-F1		※標準仕様書9.4.2(3)(a) (種別)	ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様
S1-F2		※標準仕様書9.4.2(3)(a) (種別)	ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様
S1-M1		※標準仕様書9.4.2(3)(a) (種別)	ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様
S1-M2		※標準仕様書9.4.2(3)(a) (種別)	ルーフィングシート の製造所の仕様	ルーフィングシート の製造所の仕様

S1-F1, S1-F2, S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置
・設ける
・設けない

S-M2またはS1-M2の立上り部の工法
・接着工法 立上り面のシート厚さ ※1.5mm
・機械的固定方法

屋内防水
防水層の種類
種別 施工箇所 保護層 立上り部の保護モルタル厚さ

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタル厚さ
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り	
S-C1		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り		※7mm以下

屋内保護層工法
平場のモルタル塗りの目地 ・種別 ・目地材 ・図示
ルーフィングシートの種類及び厚さ
種類 厚さ
※標準仕様書表9.4.1, 表9.4.2及び表9.4.3による
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防湿処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に鋼板を覆層加工した鋼板

接着工法においてプレキャストコンクリート部材の目地処理
・行う (・図示)
プレキャストコンクリート部材の隅部増強 (種別S-F1, S1-F1の場合)
・行う (・図示)

機械的固定工法の場合の一部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 (9.5.3) (表 9.5.1, 2)

遮断防水

防水層の種類

種別	施工箇所	仕上塗料	保層	高日射反射率防水の適用
OX-1	庇	◎主材料の製造所の仕様	◎主材料の製造所の仕様	
OX-2	床、階段、排水溝	◎主材料の製造所の仕様	◎主材料の製造所の仕様	
Y-1	※地下外壁防水			
Y-2	※屋内防水			

ウレタンゴム系遮断防水X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※主材料の製造所の仕様
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
ゴムアスファルト系遮断防水Y-1, Y-2
工法及び各工法の使用量
※主材料の製造所の仕様

防水層の種類 (9.6.1, 3, 4) (表 9.6.1, 2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
C-U-I		C-U-P	

防水層の下地
壁 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種))
天井部 (・ ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種))
下地処理
コンクリートの打抜き箇所の処理
・図示
※打抜き部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填
型枠締付け材にコンが使用されている部分及び防水材の塗布面以外の下地処理
・図示 (9.7.2, 3, 5) (表 9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合はシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合はシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

シーリング材の目地寸法
・図示
※標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

10 施工

石材等の

石材の割付け
粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ
・図示
粗面内の床を本磨きとする場合のワックス掛け
・図示 (適用場所) ・すべて
・行わない

天然石 (10.2.1, 3) (表 10.2.1, 2)

施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		※2等品				※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・片面 ・段もの ・両面				

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		

取付け用モルタル
既設面の目地モルタル ※専門工事業者の指定する製品
石表面処理材 ※専門工事業者の指定する製品
裏打ち処理材 ※専門工事業者の指定する製品
金物の固定に使用する充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品

外壁工法

内装工法

乾式工法

床及び階段の石張り

アーチ、上げ裏等の石張り

笠木、甲板等の石張り

11 タイル工事

12 木工事

表面仕上げ

製材

受金物 材質 ※SUS304
形状及び寸法
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ()
ドレンパイプの材質 ※樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ

石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※流し工法
・あと施工アンカー工法
・あと施工アンカー・横筋工法

目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書11.1.1による
シーリング材の目地寸法
・図示 ※幅・深さ共に10mm以上

受金物 材質 ※SUS304
形状及び寸法
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ()
石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋工法
・あと施工アンカー工法

目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地 位置 ※6mm程度ごと
・図示 ※幅・深さとも10mm
シーリング材の目地寸法
・図示 ※幅・深さとも10mm

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ()
取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
アンカーの材質及び形状 ※ステンレス (SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法等 ()
だば穴の位置 ・図示 ※標準仕様書10.5.2(2)(7)による

石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
外壁の工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
目地 目地幅(mm) ※8以上
シーリング材 ・図示 ※標準仕様書9.7による

床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示 ・屋外4以上 ・屋内3~6
シーリング材 ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地 位置 ・図示
※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他の部材と取り合う箇所
シーリング材の目地寸法
・図示 ※幅・深さ共に10mm

取付け工法 内装工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(3)
材質 ※ステンレス (SUS304)
寸法 引金物 ・
だば ・
かすがい ・
受金物 ・
ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける 吊金物 ※ステンレス (SUS304) 径6mm長さ80mm (加工物)
吊りボルト ※ステンレス (SUS304) M10化粧ナット付き
・設けない

あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
取付け工法 ・内装工法 ・乾式工法
石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材の目地寸法
・図示 ※幅・深さ共に10mm以上

取付け工法 ・外装工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(3)
材質 ※SUS304
寸法 引金物 ・
だば ・
かすがい ・
受金物 ・
ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
石表面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ・ ※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) (表11.1.1)

位置 ※標準仕様書表11.1.1.1による
目地寸法 ※標準仕様書9.7.3による

◎セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り (11.2.2, 7)

◎有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~4, 7)

タイルの形状、寸法等 (11.2.2, 7)

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うぐすり	発色	耐凍害性	耐汚損性	耐摩耗性	備考
エンタランス ポーチ・ホール	150角	○	○	○	○	○	○	○	○
便所床	100角	○	○	○	○	○	○	○	○
階段段鼻		○	○	○	○	○	○	○	○

標準的な面割りの発色は一体成形とする
試験張り ・行う ○行わない
見本焼き ・行う ○行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目貫工法 (高圧水洗処理) ・MCR工法
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良型上げ張り ・改良型密着張り ・ユニットタイル
外装タイル ・密着張り ・改良型上げ張り ・改良型密着張り ・改良型密着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

既設調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、湿和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
別表による
既設調合目地材 (品質・性能・試験方法)
別表による

タイルの形状、寸法等 (11.3.2~4, 7)

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うぐすり	発色	耐凍害性	耐汚損性	耐摩耗性	備考
便所(汚濁)	D-550		○	○	○	○	○	○	○

標準的な面割りの発色は一体成形とする
試験張り ・行う ○行わない
見本焼き ・行う ○行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
目地のシーリング材
打抜き目地 ※ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材
下地調整材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法 ・目貫工法 (高圧水洗処理)

表面仕上げ (12.1.4) (表 12.1.1)

表面仕上げの種類	適用箇所
機械加工	・A種 ・B種 ・C種
手加工	・H-A種 ・H-B種 ・H-C種

製材

「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開伐材等の適用
見え掛り面			※2等		※A種・B種		
見え掛り面以外			※2等		※A種・B種		

「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開伐材等の適用
見え掛り面			※1等		※A種・B種		
見え掛り面以外			※小節以上		※A種・B種		

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	開伐材等の適用
見え掛り面			※1等		※10%以下 ・A種・B種		
見え掛り面以外			※1等		※10%以下 ・A種・B種		

造作用集成材

「製材の日本農林規格」以外の製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 材質の品質 防虫処理 含水率 開伐材等の適用

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面積 見付け材の品質 開伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」による化粧り造作用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧厚板の厚さ(mm) 見付け材面積 見付け材の品質 開伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」による化粧り構造用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧厚板の厚さ(mm) 見付け材の品質 開伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材の品質 含水率 開伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」以外の化粧り造作用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧厚板の厚さ(mm) 見付け材の品質 含水率 開伐材等の適用

「集成材の日本農林規格」以外の化粧り構造用集成材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧厚板の厚さ(mm) 見付け材の品質 含水率 開伐材等の適用

造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 開伐材等の適用

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 開伐材等の適用

CLT (直交集成材)
施工箇所 品名 曲げ性能(強度等級) 種類 接合性能(使用環境) 樹種 寸法(mm) 開伐材等の適用

床張り用合板等

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
普通合板
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接合の程度 板面の品質 防虫処理 開伐材等の適用

構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 等級 単板の樹種名 接合の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 開伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接合の程度 防虫処理 開伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による天然化粧合板
施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接合の程度 防虫処理の適用 開伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理の適用 開伐材等の適用

パーティクルボード
施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 耐燃性による区分

構造用パネル
施工箇所 厚さ(mm) 等級

MDF
施工箇所 厚さ(mm) 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接合剤による区分 耐水性による区分 開伐材等の適用

接着剤
防虫・防蟻処理
「防虫、防蟻処理を省略できる樹種による製材」
適用部位: ()
「薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理」
適用部位: ()

「薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理」
適用部位 ()
処理の方法 ()
薬剤の方法 ()

「薬剤の接着剤への注入による防虫、防蟻処理」
適用部位 ()

長尺金属板
施工箇所 板及びひもの種類 接合の耐久性能、めっき付着量等の確認及び記号 厚さ(mm) 屋根架形式 備考

折板
施工箇所 形式 山高、山ピッチによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ(mm) 軒先面戸板 耐火性能

材料 板及びコイルの種類 (55%アルミ・亜鉛メッキ鋼板)
接合の耐久性能、めっき付着量等の確認及び記号 (JIS G3322)
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けて屋内で使用する場合は表面処理
(標準仕様書表14.2.2による) ・E種 ・F種
断熱材 ○有り (種類: 発泡ポリエチレン 厚さ(mm): 4) 防火性能: 時間)
なし
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
折板の折らばれ
※折らばれによる方法

粘土瓦葺

種類 施工箇所 瓦法に形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 受物互の種類の 止む互

JIS A5208に基づく凍害試験等
「行わない」
瓦葺木 材質 ※杉
寸法 ※縦21×高さ15(mm)以上
金物等 材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示
棟補強用芯材 材質 ※杉
寸法 ※縦40×高さ30(mm)以上
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
瓦葺木の留付け工法 ※図示
棟の工法 ※標準仕様書13.4.3(4) (7) (f)

とい

とい その他材種
○配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○ステンレスパイプ H
○受金物
材質 ○ステンレス H ※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状 ※市販品 (とい径 100 以下) 25×4.5 (とい径 100 を超えるもの)
取付け開閉
足金物
材質 ○ステンレス H ※溶融亜鉛めっきを行ったもの
形状 ※市販品
取付け開閉
多雪地域 ・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
鋼管製といの防露巻き ・適用する (工法: ※標準仕様書表13.5.4(1)による)
・適用しない
ルーフトレンの材質その他
種類 施工箇所 材質
○ろくろ複層用 (○縦型 ○横型) スタンド床 鋼鉄製
・バルコニー用
・バルコニー中継用

ステンレスの表面仕上げ

種類 施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)
※ H L 程度 図示
・表面仕上げ 程度
・R 20 程度

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種類 色合い等 (標準色) (特注色)
施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)

鉄鋼の亜鉛めっき

種類 色合い等 (標準色) (特注色)
施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)

軽量鉄骨天井下地

野壁等の種類
野外 (※ 25 形 ・ 19 形) 屋内 (※ 19 形 ・ 25 形)
野外の軒天、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
野壁の開口
野壁の開口からの開口 図示
野壁の開口 図示
・吊りボルトの開口が900mmを超える場合
補強方法 ※図示
○天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法 ※標準仕様書14.4.4(B)による
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示

軽量鉄骨下地

スタッド、ランナーの種類
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4(5)による。

金属成形板張り

種類 製法 形状 板幅(mm) 板厚(mm) 表面処理
色合い等

アルミニウム製笠木

種類 ・250形 ・300形 ・350形
表面処理 種類 () 種 ()
色合い等 ※標準色 () ・特注色 ()
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

手すり及びタラップ

手すり ○SUS304 (表面処理) ※丸丸度
○鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき種別
※標準仕様書14.2.2による。
タラップ ○SUS304 (表面処理) ・研磨なし ○丸丸度
・鋼製 (表面処理) ※溶融亜鉛めっき種別

モルタル塗り

モルタル ○現場混合材料 ・既製混合材料
既製混合材料 ()
既製目地材 図示 施工箇所 () 形状 (※図示)
・図示
床の目地 図示
(目地割り) ※2m程度 (最大目地間隔3m程度)
(種類) ※押し目地
図示
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着剤試験
・適用する ・適用しない

ラス系下地

ラス系下地
・通気工法単層下地
換気口部の防水処理
・通気工法二層下地
・置付けラスモルタル下地
・置付けラスシートモルタル下地
・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定

セルフレベリング材塗り

ラス系下地
・塗工法単層下地
換気口部の防水処理
・塗工法二層下地
・置付けラスモルタル下地
・置付けラスシートモルタル下地
・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定

セルフレベリング材塗り

・せっこう系 ・セメント系
(15.5.2) (表15.5.1)

仕上塗材仕上げ

建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材
種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 吸放湿材 防火材料
・外装薄塗材 S i ・砂壁状 ・砂壁状 ・適用する
・可とう形外装薄塗材 S i ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・適用しない
・外装薄塗材 E ・(・吹付け ・ローラー塗り)
・可とう形外装薄塗材 E ・さざ波状 ・さざ波状
・防水形外装薄塗材 E ・平たん状
・外装薄塗材 S ・凹凸状
・内装薄塗材 C ・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)
・内装薄塗材 L ・着色骨材砂壁状
・内装薄塗材 S i ・(・吹付け ・こて塗り)
・内装薄塗材 E ・砂壁状じゅらく
・内装薄塗材 W ・京壁状じゅらく

「薄付け仕上塗材」
種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 吸放湿材 上塗材 防火材料
・外装薄塗材 C ・吹放し
・外装薄塗材 S i ・凸部処理
・外装薄塗材 E ・平たん状
・内装薄塗材 C (・こて塗り ・ローラー塗り)
・内装薄塗材 L ・凹凸状
・内装薄塗材 G (・こて塗り ・ローラー塗り)
・内装薄塗材 S i ・ひき起し
・内装薄塗材 E (・こて塗り ・ローラー塗り)
・かき落とし

「薄層仕上塗材」
種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料
・薄層塗材 C E ・ゆず肌状
・可とう形薄層塗材 C E ・凸部処理
・薄層塗材 S i ○凹凸状
・薄層塗材 E
○薄層塗材 R E
・防水形薄層塗材 C E
・防水形薄層塗材 E
・防水形薄層塗材 R E

「薄層仕上塗材」
種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料
・薄層塗材 C E ・ゆず肌状
・可とう形薄層塗材 C E ・凸部処理
・薄層塗材 S i ○凹凸状
・薄層塗材 E
○薄層塗材 R E
・防水形薄層塗材 C E
・防水形薄層塗材 E
・防水形薄層塗材 R E

「薄層仕上塗材」
種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料
・薄層塗材 C E ・ゆず肌状
・可とう形薄層塗材 C E ・凸部処理
・薄層塗材 S i ○凹凸状
・薄層塗材 E
○薄層塗材 R E
・防水形薄層塗材 C E
・防水形薄層塗材 E
・防水形薄層塗材 R E